

Tricolore [rouge]

作 渡邊一功  
演出 遠山浩司

わやつたのです。

舞台場には三つの風景。

以下、三景が時に切り替わり、時にシンクロしながら進んでいく。

## 登場人物

朝倉 (f.)

フリヤ (m.)

チヅヒ (f.)

本多 (m.)

ミハル (f.)

朝、その一。  
時計のアラーム音。  
舞台上にはイヤーゼルとキャンバス。着替え中の本多がアラームを止める。  
シャツのボタンを閉じネクタイを締める。ミハルが起きてくれる。  
ヒルのヒルの絵の具のついた、ローブまたはスマックを羽織っている。

ミハル 行くの?

本多 ああ、うん。

ミハル 早いんだ。

本多 直出なんだ。いまどき八時半出勤だつ。

ミハル じいへ。

本多 名前言つても分かんないよ。小さなトドだから。

ミハル じゃなくて場所。

本多 日本橋。

ミハル 間に合わないじゃない。

本多 いや、約束は九時だから……あ、そつ。

ミハル なに?

本多 カフス見てない?

ミハル カフス?

朝倉 昨日「あなた」の夢を見ました。始発の音が聞こえるまで仕事をしてた

から、正確には今朝。夢の中でアタシはあなたの腕の中にいました。服を着ていたが憶えてないのでする前なのかした後なのか分からぬけど、でもどっちかです。あなたは私の顔や胸、髪の毛を優しく撫でてくれました。そりやあもう、これ以上はないってくらいの優しさで。でも

私はあなたが誰だか分かりません。だってアタシにや彼氏もダンナも恋人も、彼女もペットもいないんだもん!

でも夢の中ではあなたは「あなた」でした。アタシはとても幸せで、心地よく、あなたの腕の中で眠りに就くところでした。でもその瞬間、目覚まし時計が鳴って、アタシはハードでベーなリアルワールドに戻つて来

ミハル お風呂場は?

本多 見た。ベッドの周りにも無かった。

ミハル どこだる。高いの?

本多 いや、そうでもないけど。貰いモノです。

ミハル 探す?

本多 ん……いや、いいよ。もう行かなきゃだし。

ミハル そう? じゃあ見つけたら。

本多 うん、また来たとき。キミは?

ミハル え、

本多 どうするの、今日。

ミハル ん……絵え描くか買い物行くか、かな。

本多 そつ……

ジャケットを羽織る本多。

ミハル 行ってらっしゃい。

本多 ……あのさ。

ミハル なに?

本多 なんか忘れてない?

ミハル なに? 他にも何か置いてくつもり?

本多 いや、じゃなくてキミ。

ミハル ワタシ?

本多 本多 なんで?

ミハル なんで?

本多 本多 なん……じゃあいいや。またね。

ミハル うん、またね。

ミハル、あくびをして羽織っていた上着のポケットに手を突っ込む。

ミハル あ、

と、ミハルの手にはカフスボタン。

そして呟くよう、「元気」と、

朝、その二。

ミハル ……思い出した。

朝、その二。

田舎ましのベルが鳴る。

たくさんさんのバッグを抱え、出かける支度をするチヅエ。

フミヤはまだ寝むつていい。

チヅエ ねえ。

フミヤ ……

チヅエ ねえつたら、ねえ。

フミヤ ……ん……

チヅエ フミヤー

チヅエ フミヤー

チヅエ ……ん……なに……?

まだ田舎めていない様子のフミヤ。

チヅエ 私、もう行くよ。

フミヤ ん……

チヅエ ヨーグルトとアボカド、冷蔵庫に入ってるから。トーストは自分で焼いてね。

てね。

フミヤン。  
チヅエ あと「パー-ヒー。」豆切れたからインスタントで我慢して。  
フミヤ ええ。  
チヅエ ええ、じゃなくて。アンタ買つどこでよ。  
フミヤん……店どこだっけ?  
チヅエ 南口の商店街入つてすぐ左。豆はサンタス。皿盛り六で挽いてもらつて。  
憶えた?  
フミヤん……商店街入つてすぐ……  
チヅエ ああもう。書いとく。  
チヅエ、メモ用紙に書き殴る。

チヅエ じゃ、行くね。  
フミヤ いま何時?  
チヅエ 八時半。  
フミヤ はやつ。  
チヅエ アンタ、今日どうするの?  
フミヤん、渋谷か原宿かな。チヅエは?  
チヅエ 自由が丘と代官山寄つて、青山の事務所。そのあと渋谷のスタジオで撮影して、  
フミヤ じゃ表参道にする。よかつたら見に来てよ。  
チヅエ そんな時間ないよ。じゃあね。  
フミヤん。行つてりっしゃあい……  
チヅエ、出て行く。  
あぐびをしながら起きあがるフミヤ。  
風呂敷のような布に包まれた仕事道具を広げ始める。

中には数枚の色紙と硯と筆。  
フミヤ、もう一度大きくあぐび。  
朝、その三。  
CDラジカセから大音量の音楽。  
慌ててそれを止める朝倉。  
時計を見て、  
朝倉 うわ、ヤバ。  
床にはプリントアウトした「デザイントト画」が散らばつてる。  
朝倉、何枚もあるその用紙をかき集める。  
朝倉 えと、今日は本多さんとパレ、篠原さんとパレ……  
朝倉、デザイントト画を見比べる。  
朝倉 Eトトがコレで、本多さんとパレ。コレは田葉舎で、篠原さんといいが……あれ……?  
デザイントト画を探す朝倉。  
最後のひとつが見つからない。  
朝倉 え、ウソ。ビリよ……マジで? マジ? ウン、ビリ? ...  
ビリよお?

朝倉 げ、マジやっぱー。ホント珍しいよな……マジ珍め、マジ珍め、マジの助え  
…………あー…

朝倉 最後の一枚を見つける。  
だがワインかコーヒーかでひびく汚れている。

朝倉 つたあ……じょ……印刷? や、メール!

一度出て行くが、すぐに戻つて来る。  
デザイン画をプラスチックの大判ケースに詰め込み、慌てて出て行く。

毎、その一。  
布を広げ道具を並べるフリ。さりげなく、小さな手書きの看板を置く。  
看板には「ことだま屋」と書いてある。  
少しだけ買いたい物袋をぶらさげたミハル。

フリヤの前で立ち止まり、不思議そうにのぞき込む。

フミヤ いらっしゃい。お買い物?  
ミハル 何屋さん?  
フミヤ ことだま屋っす。

ミハル え、  
フミヤ コトダメヤ。  
ミハル 何売つてあるんです?  
フミヤ 言葉つすね。  
ミハル 言葉?

フミヤ え?  
フミヤ お仕事なんですか?  
ミハル なんだと思う?  
フミヤ お歳は?  
ミハル いくつに見える?  
フミヤ ……逆ナンですか?  
ミハル 仕事はねえ、ヒトに言えない仕事。歳も言えない。  
フミヤ オッケ。じゃあ聞かないことにします。  
ミハル ワタシまだ頼んでないよ。

フミヤ いいんす。これからおまかとハナシして書きますから、気に入つたらコ

フリヤ そっす。コトバ。  
ミハル (筆と硯を見て) 書道とか?  
ミハル ん、ちょっと違いますね。  
ミハル じゃあ詩?  
フミヤ ま、詩みたいなもんです。短いヤツ。  
ミハル 準備中。  
フミヤ や、営業中ですよ。  
ミハル 品物は?  
フミヤ オートクチコールなんす。  
ミハル は?  
フミヤ えと、お客さんが欲しいコトバを、コレに書いて売ります。  
ミハル へえ。  
フミヤ 何か書きますか?  
ミハル ワタシ?  
フミヤ ええ、ネエさん。  
ミハル なに書いてくれるの?  
フミヤ ネエさんがいま必要としているモノ。  
ミハル 分かるの?  
フミヤ お仕事なんですか?  
ミハル なんだと思う?  
フミヤ お歳は?  
ミハル いくつに見える?  
フミヤ ……逆ナンですか?  
ミハル 仕事はねえ、ヒトに言えない仕事。歳も言えない。  
フミヤ オッケ。じゃあ聞かないことにします。  
ミハル ワタシまだ頼んでないよ。

フミヤ いいんす。これからおまかとハナシして書きますから、気に入つたらコ

レ(相手) にお金入れてへだせ。十円でも百円でも好きなだけ。

ミハル そんなに安くていーの?

フミヤ 万札もオッケーですよ。ねつり無いけど。

ミハル 気に入つたら?

フミヤ 気に入つたら。そんかしちょつと質問に答えてください。

ミハル いいけど。

フミヤ どうから來ました?

ミハル それは家のこと?

フミヤ や、なんでもいつでも、どうからでも。

ミハル ん……じゃあ、靴屋から。

フミヤ てひとはそん中は靴つすね。

ミハル アタリ。

フミヤ ていつかアタリまえ。どんな靴?

ミハル ミコール。

フミヤ ミコール? 冬なの?

ミハル 冬だから。

フミヤ ふうん……じゃこれからどこに行きます?

ミハル 届け物をしに行きます。

フミヤ ミコールを?

ミハル ふー。

フミヤ じゃあ何を。

ミハル 忘れモノ。

フミヤ 彼氏の?

ミハル さあ、どうでしょ。

フミヤ 彼氏だ。アタリ。モノはね、腕時計。

ミハル 残念。でもウチに忘れてつたのは一緒に。

フミヤ ええ、じゃあ……鍵つすね。

ミハル ああ、それ素敵か。

フミヤ 決まり、カギ。それもあなたのパロロの扉を開く。

ミハル やつぱ止めた。(と言つて去つてゐる)

フミヤ ウソ、冗談つす。でもカギはちょっと素敵つすね。鍵を届けに行く女。

ミハル はは。

ミハルの乾いた笑い。

フミヤ ほいで彼氏は自分の部屋の前で(身をかがめて)こあんなになつてブルブルしてゐるんですよ。(携帯を取り出し)「コカリ、鍵忘れちゃつたよお~、寒いよお~。」

ミハル はは。

少しだけ笑つミハル。

フミヤ でも鍵じやない?

ミハル うん。もう少し小さ~い。

フミヤ 鍵よか?

ミハル うん。

フミヤ 難しいな。鍵よりでかいのならたくさんあるんすけどね。

ミハル そりやね。

フミヤ 財布とかカバンとか……あ、オレ横浜の友達んちにバイク忘れたことあるんすよ。

ミハル あらあ。おつきな忘れ物だね。

フミヤ うふ。なんか起きたらすこ天気良くてバイクで来たことすっかり忘れ。家帰つてから氣付いた。それも次の日。

戯曲「Tricolore [rouge]」全編が 現在オンラインショップ「楽曲ストア」で販売中です。続きを読むになりたい方は架空ストアさんをお訪ねください。

楽曲ストア

<http://store.retro-biz.com/>

なお売上金は日本赤十字社の「東北関東大震災義援金」に寄付されます。  
なにかかわる理解とい協力をお願ひいたします。